

わたしの議会。



1月10日（土）にマリンターミナルにて祝賀放水が行われました。

鳥羽市議会各種 SNS



とば市議会だより 目次

12月会議報告	2	一般質問	5～10
常任委員会報告	2～3	1月19日会議報告	11
議員別表決結果	4	3月議会のご案内	12
鳥羽市議会サポーター意見交換会の実施	5		

議会報告

・議案質疑・

議案第64号 鳥羽市分課組織条例の一部改正について

濱口正久

組織体制の見直しについて
市長の考えは

市長

このタイミングで一気に
変えていく必要がある現状の職員体制の維持も難しい中で、
組織体制を見直すことについて市長はど
のようにお考えですか。答 市長 離職者、休職者が多い現実で、
組織体制の維持が大変厳しい状況とい
うことは承知しておりますが、令和8
年というのは本市にとっても大きなう
ねりを伴って動き出す年です。市政の
中ではみなとまち再生、人口減、少子
高齢化、生活インフラの整備等の課題
が山積しています。その中で、特に組
織の変革については、このタイミング
で一気に変えていく必要があるだろう
と考えた次第でございます。

行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第53号 鳥羽市放課後児童
クラブの設置及び管理に関する
条例の一部改正について〈内容〉新設する放課後児童ク
ラブの名称・位置及び定員を
加えるほか、引用する条項の
整理等を行う。議案第64号 鳥羽市分課組織条
例の一部改正について〈内容〉効率的な業務執行を図り、
施策を着実に推進する体制を
整備するため、組織を見直し
たく、所要の改正を行う。

改正前	改正後
企画財政課	地域創生課 財政課 政策秘書課

放課後児童クラブ「どんぐり」として活用される
旧岩倉老人憩の家協議をしながらできる限り預
かれるような方向で進めてい
きたい。

議案第64号については、職員間の協議方法や合意形成に至るまでのプロセスに関する質問や、現状の職員体制や業務負担の増加を危惧する意見等が出されました。最終的な委員会の総意として「政策経営会議を経て職員の中で意思統一はされたことから、今回の組織再編については了とするが、総務課は職員の離職率を下げる対策を並行して行うよう強く要望する」との結論に至りました。

- 地震対策推進事業（市指定避難所である旧桃取小学校校舎について、雨漏り等により避難スペースに損傷がみられ使用に支障をきたしていること
- 一般会計補正予算（第6号）
- 一般会計補正予算（第6号）
- 一般会計補正予算（第6号）



改修が行われる旧桃取小学校

予算決算常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

から、避難所の生活環境を改善するための費用を計上）
…2400万円

問 繰越明許で計上されているが、一刻もはやく防水の施工が必要ではないか。

答 まずは年度内に屋上防水を終わらせたい。天井部分の工事については年度内に終わらない可能性があることから、繰越明許を設定させていただいた。

意見 施設として安心・安全に利用ができるよう適切に管理していただきたい。

議案第41号 令和7年度鳥羽市一般会計補正予算（第7号）
● 保育所運営事業（修繕料等のほか、令和8年4月より保育所において3歳以上児の主食提供を開始することから、必要となる設備整備等に係る費用を補正）
…1397万1000円

（主な補正予算の内容と質疑応答）

問 3歳以上児の主食提供を開始するに当たり、すべての保育所の設備整備を行うのか。
答 消耗品はすべての保育所で購入するが、設備整備等については必要性のある保育所のみである。

- 漁業経営構造改善事業（市内漁業における大量水揚げ魚や低未利用魚等の加工と流通促進による付加価値向上を通じて漁家経営の安定化を図るため、鳥羽磯部漁業協同組合が整備する加工処理施設に対し、補助支援する費用を補正）
…2億745万2000円

問 魚価の安定や低未利用魚の活用についての要望がようやく形になった。繰越明許費が

計上されているが、完成の見込みはいつ頃か。

答 早ければ令和9年3月頃の稼働を計画している。

討論

議案第48号 鳥羽市観光まちづくり基金条例の制定について

戸上 健 議員

『反対』

議案第64号 鳥羽市分課組織条例の一部改正について

濱口 正久 議員

『反対』

議案第57号 令和7年度鳥羽市一般会計補正予算（第8号）から議案第66号 鳥羽市職員の通勤手当支給に関する条例の一部改正についてまでの10議案について

南川 則之 議員

『賛成』

議案番号	議案名	議決日	審議結果	倉田正義	五十嵐ちひろ	世古雅人	山本欽久	瀬崎伸一	南川則之	濱口正久	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀
40	令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)	11月26日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
41	令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	令和7年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	令和7年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	令和7年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	令和7年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	令和7年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第3号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	令和7年度鳥羽市下水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	鳥羽市観光まちづくり基金条例の制定について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	鳥羽市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	12月15日	可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	鳥羽市印鑑条例の一部改正について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	鳥羽市職員等の旅費に関する条例等の一部改正について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	鳥羽市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	鳥羽市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	鳥羽市消防団条例の一部改正について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	鳥羽市火災予防条例の一部改正について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	鳥羽志勢広域連合規約の一部変更に関する協議について		可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和7年度鳥羽市一般会計補正予算(第8号)	12月22日	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
58	令和7年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
59	令和7年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
60	令和7年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
61	令和7年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
62	令和7年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
63	令和7年度鳥羽市下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
64	鳥羽市分課組織条例の一部改正について		可決	○	×	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○
65	鳥羽市職員給与条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
66	鳥羽市職員の通勤手当支給に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

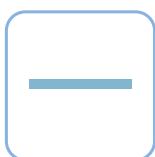
議長につき表決なし

鳥羽市議会サポーター意見交換会を実施しました

令和7年12月18日(木)に鳥羽市議会サポーター意見交換会を実施しました。鳥羽市議会サポーター9名が2班に分かれ、「議会や議員活動をもっと知つてもらうためには」をテーマに話し合い、最後には意見発表を行いました。



これが問いたい・ここが聞きたい



12月2日・3日に10人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。



※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

各議員の動画はこちらからご覧いただけます↑

日程	議員氏名	項目
12月2日(火)	倉田正義	鳥羽市武道館の施設・設備の改善について
	濱口正久	社会的処方箋による地域課題解決と共創人口について
	五十嵐ちひろ	性別で判断されない鳥羽市にすることについて
	南川則之	耕作放棄地の再生利用と獣害対策について 市職員の処遇改善及び業務改善について
	山本欽久	市の郷土学習の推進について 市営定期船の減船について
12月3日(水)	戸上 健	生活困窮者の権利としての生活保護行政を問う 本市の文化財保護と「九鬼水軍博物館」の建設を提案する 鳥羽市の財政について市長の基本認識を問う
	世古安秀	鳥羽市の経済活性化策について
	木下順一	市長公約の「海環境と森林環境を守る政策」の推進と、加茂小学校の提言の実行について
	坂倉広子	認知症の人に寄り添った地域社会の構築について 命を守り、命をつなぐ防災対策について インクルーシブ教育システムにおける「副次的な籍」について
	尾崎 幹	都市マスタープランの改定について

鳥羽市武道館など運動施設の今後の在り方は



くらた まさよし
倉田正義



降雨時の雨漏り対策としてブルーシートが敷かれている
鳥羽市武道館の現状

市長

市民の皆さんに
ご理解いただける
方策を出していきたい

問 鳥羽市武道館の照明は、「水銀に関する水俣条約」において問題の大きい水銀灯が設置されています。防災の観点からも全面更新が必要と考えますが、どのように対処しますか。

答 生涯学習課長 水銀灯は既に生産が中止しており、維持管理が困難になっています。防災・安全面の配慮も求められる状況にあり、順次対応していきたいと考えています。

問 人口減少が進む中、運動施設について、見解はいかがですか。

答 市長 子育て支援、市民の活力醸成、いずれにしても中央公園一帯は、非常に大切な場所だと思っていきます。今後しっかりと検討し、市民の皆さんにご理解いただける方策を出していきたいと考えています。

問 人と人がつながることによって社会的に健康になっていく「社会的処方箋」について、社会福祉協議会が中心となって取り組む「まちのカルテ」と運動ができませんか。

答 健康福祉課長 課題が広く投げかけられ、その課題の解決にあらゆる主体が参画できる状況をつくることは、人口減少下の課題の解決手法として重要だと思います。

市長 複合的なものにつくり上げたい

問 部活動の地域展開、市民の健康増進など、社会体育の重要性は高まっています。武道館の修繕など運動施設の整備についてどのように考えますか。

答 教育長 武道館の設備が十分でない点は、重要な課題であると認識しています。地域のスポーツ活動を支える施設の整備は不可欠です。修繕や改善の必要性を検討し、安全快適な環境の提供に努めています。

鳥羽モデルとしての確立が期待されています。

共創未来の実現のため、駅の近くに交流拠点を



はまくちまさひさ
濱口正久



共創拠点のSHIBUYA QWS (渋谷キューズ)

市長

複合的なものにつくり上げたい

問 共創による未来を実現するための関係人口、特に若者や学生が集いやすい駅の近くに交流拠点があつたほうがいいと思いますが、市長の考えを伺います。

答 市長 鳥羽駅周辺のエリア再生ビジョンの動きも見ながら、都市機能、交流施設、発信機能、交通結節の機能を持たせた複合的なものにつくり上げていきたいと思っております。

問 観光商工課の取組である地域課題解決調査補助事業は、鳥羽モードにならないのではないかと考えますがいかがですか。

答 観光商工課長 大学生や研究グループによる研究課題は、海女文化、観光振興、水産振興など多岐にわたりており、こうした若者の関わりは地域に新たな視点や活力をもたらす重要な要素であり、この補助制度を活用する大学生等は年々増加しておりますので、今後、鳥羽市ならではの

鳥羽市は性別で判断されないまちか

市長

性別による社会的・家庭的役割という点において保守的な地域性がある

性別にかかわらず、どんな人でも力を発揮できる社会に近づけるため

に、地域としてどこに伸び代があるのか考へることが大切です。鳥羽市は、性別で判断されないまち、誰もが同じように認められ、力を発揮できるまちだと思います。

市長 性別による社会的・家庭的役割という点においては、まだまだ鳥羽市は保守的な地域性があるといふうに考へております。



いがらし
五十嵐ひろ

割が非常に大事ではないかと思つております。鳥羽市は消滅可能性都市という烙印を押されているわけです。が、これは39歳以下の女性の割合によってその規定が決まるということです。女性が社会進出しやすい、あるいは家庭や社会で生活しやすい、労働しやすい環境をつくっていく、その先頭に行政が立つべきだという認識は今持つておりますので、府内でもしっかりと議論しながら進めていきたいと思っております。

市長 鳥羽市として独自の対策ができたら

近隣の伊勢市、志摩市でも耕作放棄地を解消する補助金などを創設し、支援策を実施しています。鳥羽市独自の荒廃農地解消に向けた支援策を早急に実施する考えはありますか。

市長 近隣市町の先進事例を参考にし、鳥羽市として他市町に引けを取らないような独自の対策をできたらと思っています。



市内農地全体の約56%が荒廃農地
(写真は相差町茅原新田の耕作放棄地の状況)

市長 年々有害獣が増加傾向であり、国の補助金だけでなく市費も投入して抜本的な対策が必要です。獣害

荒廃農地解消に向けた支援策の実施を

市長

対策の強化は急務と考えますがどうですか。

市長 市の財源確保については、担当としつかり話をし、他市町に引けを取らないような形をとらたいと思います。狩獵者の方の支援も含め、適正な水準を目指して検討していきます。

市長 船員及び消防職員の健康面と精神面を考えると危機的な状況だと思いました。それぞれの待遇改善、人員確保は緊急事態と考え真剣に取り組んでいただきたいです。

市長 船員の住居、手当については、船員と話し合いをさせていただきたいたい。また、消防職員の増員については、消防長から10名の増員を要望されていますが、年度内を自途中に回答させていただきます。



みなみがわのりゆき
南川則之

市長 前向きに捉えていきたい

市長 船員及び消防職員の健康面と精神面を考えると危機的な状況だと思いました。それぞれの待遇改善、人員確保は緊急事態と考え真剣に取り組んでいただきたいです。

市長 船員の住居、手当については、船員と話し合いをさせていただきたいたい。また、消防職員の増員については、消防長から10名の増員を要望されていますが、年度内を自途中に回答させていただきます。

郷土学習の重要性は

教育長

本市が誇るべき取組

問 本市の郷土学習の取組の中でも島つ子ガイドが有名になっています。どのように実施されていますか。

答 学校教育課長 神島小と菅島小で行われている取組で、海島遊民くらぶさんの協力のもと、自分の島の良さや課題に気づき、ガイド活動や意見交流を通して人と関わることでコミュニケーション能力も育まれます。

問 今後の郷土学習の重要性について、どのようにお考えですか。

答 教育長 単なる知識の習得にとどまらず、子ども達が主体的に未来を切り開く力を育むものと思っています。本市が誇るべき取組であることから、今後もより一層取り組んでいきたいと考えています。



船員不足により6隻から5隻へ減船となる定期航路

減船への思いは

市長

問 住民とのコミュニケーションが大事である

答 市長 市長は減船に際してどういった思いで臨まれましたか。

答 市長 船員にいかにやる気を持ってこの鳥羽の定期船で働いていただけますかを考えなくてはいけないと思っています。また、離島航路の維持には、住民とのコミュニケーションが非常に大事だと強く感じました。

問 10年前からこの問題について正面から考えたければ状況は変わったかもしれません。今こそリーダーシップをとつて、真剣に対応をお願いします。

問 現在、水軍博物館を建設している自治体はどこでしょうか。

答 生涯学習課長 戦国時代の水軍をテーマにした博物館は、全国で愛媛県今治市に所在する村上海賊ミュージアムのみとなっています。

問 九鬼水軍博物館が誕生すれば、観光誘客の面からも新たな効果が生まれると思いますが、ご見解はいかがでしょうか。



やまとよしひさ
山本欽久

九鬼水軍博物館の建設を

市長

視野に入れたい

問 九鬼嘉隆と九鬼水軍は本市の英傑です。今、全国的に注目を浴びています。九鬼嘉隆、九鬼水軍の資料を

一堂に展示して、鳥羽市民がいつでも見ることができるという資料館は鳥羽にありますか。

答 生涯学習課長 鳥羽市には九鬼水軍を一堂に展示、紹介する資料館はありません。海の博物館や鳥羽市歴史文化ガイドセンターの一角に展示があるのみとなっています。また、全国で九鬼水軍を紹介する博物館はございません。



愛媛県今治市の村上海賊ミュージアム

観光商工課長

問 九鬼水軍博物館もしくは資料館の建設を市として視野に入れる時期に来ているのではないかと思いますが、市長の「存念はいかがでしょうか。

答 市長 博物館の建設につきましては、視野に入れたいというふうに思っております。



とがみけん
戸上健

今後の中小企業の振興策は

市長

中小企業振興条例を制定し、来年度から執行していきたい

問 市内の事業所数はどれだけですか。
答 観光商工課長 本市の事業所数は1118事業所で、産業別では、第三次産業が全体の約9割を占めています。

問 製造業への支援策について、今まで以上に手厚く金融政策をできませんか。
答 観光商工課長 既存の補助制度と国の融資制度を適切にご案内し、ご活用いただきことが重要であると考えております。

問 鳥羽市内の経済を循環させる、域内循環についての考え方を伺います。
答 市長 一般消費者だけではなく、企業等、旅館業も地元のものを使っていただき、お客様に提供するという仕組みをつくるいく必要があると考えております。



世古安秀議員



せこやすひで
世古安秀

「森と海のつながり」を活かす政策を

市長

着実に推進します

問 「鳥羽市森林整備計画」には、森の整備が海の再生に貢献すると明記されています。この計画を市政の柱として継承し、「森と海のつながり」を活かす政策をどこまで本気で強く推進しますか。

答 市長 中小企業振興条例の制定については、既に鳥羽商工会議所等と調整をしています。来年度から執行していくようにやつていただきたいと思っています。

問 今後の中小企業の振興策をどう考えていますか。
答 市長 中小企業振興条例の制定における森と海は密接な関係にあり、森の管理は海への栄養塩供給や土砂流出防止に不可欠です。本計画を市長が変わったとしても継承すべきものと位置づけ、「森林環境譲与税」、「みえ森と緑の県民税」なども活用しながら、計画に基づく事業を着実に推進していきます。

問 かつて加茂小学校の児童から「海を守るには森が大切」との理念の下、体験学習を求める提言がありました。子供たちの熱い思いを受け止め、具体的な施策として実行に移す考えはありませんか。

答 市長 子供たちの提言は高く評価しております、彼らの研究成果が市政の中で実現し、達成感を持つてもらえるよう努力します。



木下順一議員



きのしたじゅんいち
木下順一

次年度の予算編成に向けて、「森と海のつながり」を軸とした施策を総合的に推進していく考えはありますか。

答 市長 現在は予算編成の時期ですので、関係課と調整しながらしっかりと進めます。私の公約でもありますので、子供たちや民間の方が全面的に活躍できるような体制へシフトしていきたいと考えています。

ユマニチュード普及のために取り組むべきことは



さかくらひろこ
坂倉広子

健康福祉課長

技法を実践できる人材の育成と考えている

ないかと考えています。
意見 ユマニチュードの普及については、ぜひ今後、研究を進めていっていただきたいと思います。



ユマニチュードのイラスト

問 ユマニチュードを普及するために取り組むべきことは何ですか。
答 健康福祉課長 ご家族や事業者を対象とする研修の導入などで、技法を実践できる人材を育成することでは

問 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について伺います。認知症の人々の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュード^{*}が注目をされています。このケア技法はどのような効果があるとされていますか。

答 健康福祉課長 このケアを実践することで、「本人の不安や恐怖が和らぎ精神的な安定につながり、表情を含め穏やかになること、周囲から提案に対する拒否的な行動が減り、その方に必要なケアの受け入れが改善されること、また、転倒の頻度や行動の抑制、薬剤への依存が低減し、その結果として、ケアする側の負担感が軽くなることなどが報告されています。

時代の流れに沿つて進めていきたい

市長

これまでの一般質問において、「空き家対策」「補助幹線道路整備」「防火・準防火地域指定」「火葬場の高台移転」「奥谷川砂防ダム」「国土調査」等の問題について指摘、要望をしてきました。これには都市マスタープランの改定が有用だと思いま

すが、アップデートの必要性をどのように考えていますか。

答 企画財政課副参事 都市マスター プランのアップデートは重要だと考えております。

問 國土調査の進展スピードが遅く、中心市街地等、市内の大部分で隣地境界線が定まっていない事について、副市長の考え方をお伺いします。

答 副市長 境界を決めることは、市としても今後の事業を進めていく上でも大変重要なものと認識しております。

都市マスターplanについて 市長の考えは



おざきみき
尾崎幹

問 新たな法制度、社会情勢を反映していない「スピード感の無い」都市マスターplanについて、市長の考えをお伺いします。

答 市長 時代の流れにきちんと沿つて必要なポイントは抑えながら進めていきたい、大変重要な課題だというふうに思っております。



尾崎幹議員

議会報告

1月19日に令和7年度鳥羽市一般会計補正予算（第9号）ほか、鳥羽市職員定数条例の一部改正についての議案2件を審議しました。

行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第68号 鳥羽市職員定数条例の一部改正について

問 消防力の充実を図るために消防職員の定数を見直し、所要の改正を行う。
 答 消防機関の職員 46人 ↓ 50人（4人増）
 問 消防職員の定数を46人から50人に4人増とした理由は。
 答 現在、消防職員1名を三重県消防学校に派遣しており、さらに令和10年度には消防通信指令業務の共同化事業により2名を派遣する見込みとなっている。不足する職員への対応が必要となることから、今後、職員採用の際に優秀な応募者が多数見えた場合、消防職員を確保できるよう今回の改正内容とさせていただいた。

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第67号 令和7年度鳥羽市一般会計補正予算（第9号）

問 主な補正予算の内容と質疑応答
 答 中小企業支援事業（物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、商品券の配布を行う「地域振興券事業」を実施するための費用を補正）
 問 商工会議所の会員以外への周知についてどうしていくのか。
 答 周知に関しては商工会議所の会員を中心に周知させていたが、多くと共に、自己負担が減り申請がしやすくなつたというところをポイントに発信をしていきたい。



地域振興券イメージ図

● 地域振興券事業（物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、商品券の配布を行う「地域振興券事業」を実施するための費用を補正）
 … 2億6140万円

問 地域振興券の配布を4月中旬との説明があつたが、なぜ4月なのか。

答 物価高騰支援であるため一刻も早く配布したいが、使用できる事業者の募集や説明会の実施、また電算会社の処理に時間が掛かることから、どれだけ早くしても4月の中旬が最短である。

○：賛成 ✗：反対
 -：欠席もしくは棄権

令和8年1月19日会議

議員別表決結果

議案番号	議案名	議決日	審議結果	倉田正義	五十嵐智ひろ	世古雅人	山本欽久	瀬崎伸一	南川則之	浜口正久	河村孝	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀
67	令和7年度鳥羽市一般会計補正予算（第9号）	1月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	鳥羽市職員定数条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和8年3月議会のご案内

- 本会議(議案上程)……2月25日(水)
- 本会議(一般質問)……3月3日(火)・4日(水)・5日(木)
- 本会議(議案質疑)……3月6日(金)
- 行政常任委員会………3月9日(月)
- 予算決算常任委員会…3月10日(火)～3月16日(月)※土日を除く
- 本会議(表決)……………3月23日(月)



※会議日程は変更する場合があります。開催時刻等、詳細は市議会カレンダー（上記QRコード）よりご確認ください。

なお、一般質問の日程は質問者の人数により次のとおり変動します。

- 質問者が5人以下の場合→1日間(3月3日のみ)
- 質問者が6人以上～10人以下の場合→2日間(3月3日・4日)
- 質問者が11人以上の場合→3日間(3月3日・4日・5日)



傍聴してみませんか？

本会議や委員会は原則公開されており、傍聴が可能となっています。ぜひ実際の議会中の空気を感じてみてください。

編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより)第194号をお届けします。

昨年7月に鳥羽市議会サポーターを任命し、12月には意見交換会を実施しました。サポーターの皆様には、議会の傍聴などを通して、13人の議員それぞれが市民の代表として意欲的に活動する姿にご理解をいただき、深く感謝申し上げます。

また、サポーターの方々のご意見に応え、今後のSNS更新を広報広聴委員会が担当し、日頃の活動なども積極的に配信していきます。市民の皆様のフォローをよろしくお願ひいたします。

広報広聴委員会 委員長

山本欽久

副委員長

濱口正久

委員

倉田正義

委員

五十嵐ちひろ

委員

世古雅人

委員

南川則之

委員

河村 孝

記 倉田正義